

# 既成概念を覆す発想力と行動力を備えた 0から1を作り出す人材を養成

新型コロナウイルスへの対策として、今年4月から全国の大学でオンライン授業が一気にスタートしました。本学でも様々な困難はありましたが、全学部でオンライン授業を実施。医・

歯・薬学部などの医療系では、国家試験を受けるための実習が不可欠となっていますが、万全の準備を行い、体調管理を徹底したため、病院などで罹患した学生は現在のところ出ておらず、この状況に学長として安堵するとともに、オンライン授業には

## 医工連携など 学部を超えた連携も活発

様々なメリットがあることも十分に理解しましたので、今後は対面とオンラインを融合したハイブリット型のカリキュラムにすることを検討しています。

ところで、徳島大学は昨年創立70周年を迎えた歴史ある大学ですが、理系を中心にした総合大学という全国でも珍しい学部構成となっています。徳島市内に蔵本と常三島とい



野地 澄晴 学長

のじ・すみはれ／1970年福井大学工学部応用物理学科卒業、1980年広島大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了。理学博士（広島大学）。岡山大学歯学部助手、医学部講師などを経て、1992年徳島大学工学部教授。2016年から現職。専門は発生・再生生物学。共著書に「発生と進化」（岩波書店）など。

う2つのキャンパスを持ち、前者には医学部、歯学部、薬学部があり、医学部には医学科や医科栄養学科、保健学科もあります。後者には唯一の文系学部である総合科学部と、理工学部、生物資源産業学部が設置されています。それぞれの学部で教育・研究が行われているだけでなく、学部の垣根を超えた連携教育を行っているのも本学の特徴です。理工学部と医療系学部との「医工連携」など、今後も様々な分野に展開していく予定です。

## 未来志向の 研究開発を目指す

本学OBで青色LEDの発明でノーベル物理学賞を受賞した中村修二教授は、米国留学後に本学の博士号を取得されました。2019年3月には、その流れを汲む新しい光に関する研究所を設置しました。中村教授を筆頭に、多くの本学卒業生が様々な

ある総合科学部と、理工学部、生物資源産業学部が設置されています。それぞれの学部で教育・研究が行われているだけでなく、学部の垣根を超えた連携教育を行っているのも本学の特徴です。理工学部と医療系学部との「医工連携」など、今後も様々な分野に展開していく予定です。



キャンパスを開放的で安らぎのある空間にしたいという学生・教員の提案から生まれた「助任の丘」がある常三島キャンパス